



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行
釧路市連合町内会

〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地
釧路市役所内

電話 0154-31-4255
直通電話・Fax 0154-23-2101



「年をとった外科医にしかわからないことがある」

腰部脊柱管狭窄症の 最新低侵襲手術

～腰椎棘突起間にインプラントを挿入し、
伸展を局所的に制限する「腰椎制動術」～

「腰椎制動術」は、腰椎棘突起間にインプラントを挟むことで、椎骨の伸展を局所的に制限し症状を改善させる新しい手術で、従来の手術に比べて低侵襲で良好な治療成績をあげている。2年前から腰椎制動術を実施している釧路労災病院の井須豊彦脳神経外科部長・末梢神経外科センター長に解説をお願いした。・・・

井須ドクターの診察室

第10回



釧路労災病院
脳神経外科部長
井須豊彦

手、足のしびれ痛み治療を志して40年が経ちました。どんな名医でも、手術後に頻度は少ないですが不都合な症状が新たに出現して、辛い思いを経験したことがあるはず。外科医は手術合併症（手術後にみられる避けられない併発症）と判断しても、患者さんは手術ミスと認識して、医療トラブルに発展することもありません。経験を積み重ねるほど、外科手術の腕は上がりますが、年をとれば

るほど、医療トラブルに敏感になります。患者さんは自信ありげに「私に任せれば大丈夫です」と言う言葉、態度に弱いもので、私のように手術合併症を強調する外科医は嫌われます。

最近、私は術者に優しい手術法を積極的に行っていきます。腰部脊柱管狭窄症に対する手術法としては、腰椎後方除圧術や金属固定術（全身麻酔下の手術）が行われていますが、椎弓や黄色靭帯の切除を行わず、神経を露出しない腰椎制動術（局所麻酔下の手術）は安全な手術法であり、外科医、患者さん双方にストレスがなく、術者に優しい理想的な手術法であると確信しています。ただ、最先端治療を目指す外科医や最先端治療を希望する患者さんにはどうしてもない、非常識な手術法だと思われる。私は「年をとった外科医にしかわからない」と心の中でひそかに思っています。

雑誌「ケア」（2023年11月号）より引用